

冬も安全運転を 心がけましょう

あなただけでなく、すべての道路利用者の安全を守るためのヒントをご紹介します。

地方自治体の役所や図書館、スポーツ・レクリエーションセンターでは、アイス・スクレーパーやクリーニング用の布を無料で配布しています。

1 出発前に道路状況を確認し、車両のすべての窓に雪や氷がついていないのを確認してから運転を開始しましょう。

2 天気による運転リスクを先読みし、公共交通機関（バスなど）の利用や、知人や隣人と運転を交代するといった代替案を考えておきましょう。

3 所要時間を長めに見積もり、走行速度を落としましょう。

4 雪道ではスムーズに加速し、ブレーキはソフトにかけます。

5 極端に寒い日や降雪・路面凍結が予想される場合は不要不急の外出を控えるか、代替経路を考えましょう。また、クラウン山脈を超えるクラウン・レンジ・ロードの利用は避けてください。

6 運転時は通常よりも2倍の車間距離をとり、雪氷作業車を追い越さないでください。

7 橋の上や日当たりの悪い場所を走行する際は、路面氷結に注意し、慎重に走行してください。

8 外出時は、車内にタイヤチェーンを常備してください。

9 自宅で練習するか、講習会に参加して、タイヤチェーンのかけ方を習得しておきます。

タイヤチェーンを使用するタイミング



雪道の走行時や、警察・スキー場スタッフから指示された場合、あるいはクイーンズタウンレイク地区の冬期道路情報が注意を呼びかけた場合のみ、タイヤチェーンを装着してください。冬の運転とタイヤチェーンに関する詳しい情報：www.qldc.govt.nz/winter-road-reports

冬期の道路管理



降雪時の防除雪氷作業と砂の散布は、まず幹線道路を優先し、次に補助幹線道路と歩道で行います。国内の道路では、主にカルシウム・マグネシウム・アセテート (CMA) を凍結防止剤として使用しています。生分解性のCMAは、道路や歩道の路面温度が-7°C以上で効果を発揮します。CMAは散布しやすく、道路を走行する車両にとって砂よりも安全性の高いすべり止め材です。



CMA散布後の路面は濡れたように見えますが、車道外側線に沿って真っ直ぐなラインがあるかどうかを見れば、散布されたCMAか、ブラックアイスかの区別がつかます。

以下のサイトには、大雪発生時に道路の防除雪氷作業が優先して行われる道路の地図が掲載されています。これを参考に、ご自分が利用する道路の交通状況をご確認ください。
www.qldc.govt.nz/winter-road-reports#priority-roads



四輪駆動車でも冬の運転には危険が伴います。



最新の道路情報をご確認ください。



- > 冬期道路情報サービスへの登録：www.qldc.govt.nz/winter-road-reports
- > 地元のSMS注意報に登録：www.qldc.govt.nz/text-alerts
- > 日中の最新情報を投稿するSNS：www.facebook.com/QLDCinfo
- > 高速道路の最新情報：www.journeys.nzta.govt.nz
- > クラウン山脈のライブカメラ：www.metSERVICE.com/traffic-camera/crown-range

